

# 心を込めて編み上げた、日本ブランドの真髄

明治35年から続く靴下づくりで得た技術と知識を、すべて注ぎ込んだ日本ブランド“イデ・オム”。ツヤと品格をあわせもつた最高の靴下は紳士が追い求めてきた理想の一足といえるだろう。

撮影／唐澤光也(RED POINT)

スタイルスト／河又雅俊

レイアウト／中岡寛明(エドオ) 構成／安里昌悟(本誌)

The best of  
Gentlemen  
Choice!

PICK UP  
カシミア・シルク混の  
ソックス

イタリア屈指の紡績メーカー「カリッジ」の糸を使用した靴下。ニットやセーターのように優しく包み込む肌触りは、一度はいたらやみつきになるはずだ。

PICK UP  
これぞ高級の証!  
ハンドリンキング

靴下のはき心地を左右する、つまり先部分は職人による手縫い仕上げ。吸い付くよう、さらりとしたはき心地は一日中はいていても、蒸れずに快適に過ごせるだろう。



PICK UP  
カシミア 100% の  
ソックス

現在流通しているソックスの中でカシミア100%に出会うことは難しい。靴下に不向きな素材で見事に編み上げたのは、イデ・オム。の持つ技術だからこそ実現できた。

2014年のブランド立ち上げから、今日に至るまで一貫して国内での製造にこだわってきた日本のブランド“イデ・オム”を知っているだろうか。ブランドとしての歴史は浅いものの、そのモノづくりの根底にあるのは、連綿と受け継がれてきた靴下づくりの知識と技術の継承だ。

“イデ・オム”的前身である西村靴下が手回しの機械で靴下製造を始めたのが明治35年。日英同盟が調印された年である。実に100年以上も前から靴下をつくり続けてきた、知る人ぞ知る老舗企業だ。国内有数の靴下の産地である、奈良県や全国トップクラスの職人たちは、高品質な靴下を絶え間ない改良で牽引してきた。その西村靴下と職人がタッグを組んだのが

“イデ・オム”である。ブランド名は、フランス語のイデアル（理想）とオム（男性）を掛け合わせた造語である。ブランド創設者、西村京実さんが思い描く理想の男性の足元を、この靴下で支えたい、というこだわりの一足だ。

靴下で主に使われる素材としては、綿やウールがあるが、カシミア・シルクを使った靴下の流通は少ない。デリケートな素材だからこそ、熟練の職人や高度な編み上げ技術がないと実用にたえないのだ。手間暇をかけ、靴下に不向きとされる素材で見事に編み上げた一足は、“イデ・オム”だからこそできた業だろう。歴史に敬意を払い、進歩し続ける日本ブランドの意地を、ぜひとも肌で感じていた

コーディネートが際立つ  
最上級の靴下

上質な靴下であればあるほど、シンプルで落ち着いたものがよい。スーツやジャケットスタイルなど、どんなコーディネートでもエレガントに昇華させてくれる。光沢や質感をさりげなく魅せるのが男の実力だ。写真右の3足(型番:IG-702)カシミア100%ソックス¥8,600・写真左の2足(型番:IG-401)カシミアシルクソックス¥5,300(アイ・コーポレーション(イデ・オム))

※こちらのサイト([www.ide-homme.jp](http://www.ide-homme.jp))で購入できます。

●この特集で使用した商品の問い合わせ先は、263ページにあります。

259 ●この特集で使用した商品の価格はすべて、本体のみ(税抜)の価格です。

# これぞ理想形、紳士の靴下は“イデ・オム”に任せよ!

明治35年から続く靴下づくりで得た技術と知識を、すべて注ぎ込んだ日本ブランド“イデ・オム”。

258